

研究区分	教員特別研究推進（教育推進）
------	----------------

研 究 テーマ	静岡県立大学の男女共同参画における地域ジェンダー平等推進と「仕事と健康の両立」 支援地域アクター連携事業に関する基礎研究				
研究組織	代 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	犬塚 協太
	研究協力者	所属・職名	国際関係学部・助教	氏名	青山 知靖
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	犬塚 協太

講演題目	
静岡県立大学の男女共同参画における地域ジェンダー平等推進と「仕事と健康の両立」 支援地域アクター連携事業に関する基礎研究	
研究の目的、成果及び今後の展望	
【目的】地域ジェンダー平等の推進に関し、特にコロナ禍以降地域における男女を取り巻く状況は、生活や労働のさまざまな局面で多くの困難な健康課題を抱えつつある。こうした現状をふまえ、本研究は、特に A.主として女性を対象とした「仕事と健康の両立」を支援する地域アクター連携事業の先進的事例に関する事例資料、および B.主として男性を対象とした同様の目的の地域アクター連携事業の先進的事例に関する事例資料それぞれに基づく実証的研究を行うことを目的とした。 【成果】今回の調査の結果、地域の各男女共同参画センターが上記の目的に沿って実施する連携事業展開は、コロナ禍以降の社会変化に即してより新規のテーマで行われている実態が確認されたが、このうち A.についてはさらに A-1.女性の仕事・職場でのあり方を中心とした上記問題への支援事業と、A-2.女性の身体・生理面での特性を中心とした上記問題への支援事業に大別できることが明らかとなった。A-1 について注目すべきは、特に仕事・職場における女性のキャリア形成に資する健康向上に向けた事業が目立ってきていることである。中でも職場における心理的安定性をもたらすためのコミュニケーションスキルアップを志向する事例(兵庫県明石市)や、仕事とプライベートにおけるタイムパフォーマンスの向上に向けたスキルの支援をめざす事例(千葉県浦安市)、育休復帰後のメンタル面での不安解消のための対処方法の支援を提起する事例など、そこにはこれまでにない新たな事業展開が認められる。また A-2 については A-1 とはまた異なり、必ずしも職場に狭く限定しない、一般的な女性の生活上の心身の健康確立のためのさまざまな支援事業が現れているところの特色が見出される。たとえば、職場におけるセクハラ、パワハラ、さらには DV 等の暴力への対策としてトラウマの対処法や自尊感情の維持法等を支援する講座事例(栃木県)や、職場をはじめとする過重なストレスによる自律神経のケア方法の支援をめざす事業事例(埼玉県川越市)、あるいはセルフリンパマッサージを通した免疫力向上方法を伝える事例(富山県)、グループワークを通した自己治癒能力アップをめざす講座事例(東京都墨田区)など多彩なメニュー展開がそこには認められる。一方で B については、男性特有のジェンダー課題としての多様な生きづらさを踏まえたさまざまな健康問題への対応事例を取り上げる男性相談現場からの働きかけ事業(兵庫県)や、男性学の視点から自己開示を通して職場や家庭での望ましいコミュニケーションを模索する講座事業(北海道札幌市)など、女性対象の事業とは異なる独自性のあるユニークな取組が現れつつある現状が明らかとなった。 【今後の展望】これらの成果を踏まえ、今後は本学における上記目的での地域センターとの連携事業の新たな推進をめざして、ジェンダー平等推進の方向性のもとで、先進好事例の情報収集と分析を継続的に行いつつ、「仕事と健康の両立」に関する新規事業の可能性を探ることが重要と考えられる。	